

相生学院高等学校

教科	科目	単位数	教科書番号	出版社	教科書名
体験学習	漁業	2	一	一	一

<p>目標 【学習指導要領】</p>	<p>地元特産物である牡蛎の養殖や相生湾での海釣りなど漁業体験を通して、地域住民との交流により絆を深める中で、思いやりやリーダーシップ、社会的責任感等、人間愛溢れる人材育成を図る。</p>
<p>目標に向けての具体的取り組み 【指導上の留意点】</p>	<p>海岸、海上での活動が中心となる為、事前説明での注意喚起、安全の自己管理を徹底し、また救命道具等の安全対策を行う。講義や体験を通じ、漁業や食などの日本文化、それらを取り巻く現状に関心を持たせる。</p>

学期	実施時期	内容	到達目標	添削指導 (レポート)	面接指導(単位時間)			評価方法
				回	時期	内容	時間	
前期 (後期)	7月 (11月)	体験内容の事前説明、漁業の概論について講義。	日本を取り巻く漁業の現状を理解する。	第1回	7月 (11月)	相生の地に根ざした文化産業である漁業を通じ、今日の日本の産業の問題を知る。講義や体験から学んだことをレポートに報告する。また感想を生徒同士で共有する	1	レポート 行動観察
		漁業体験:釣りの経験のある生徒をリーダーとして判を構成する。事前講義で学んだ内容を、関係者や教職員、生徒同士のコミュニケーションと通しながら体験する。	魚を釣る・漁をすることの文化的・社会的意義、命の大切さ、生きる事の本質を理解する。	第2回			1	
		体験を通して得た感想や漁業に関する事柄についてまとめる。	体験を通じて、命の大切さを理解する。	第3回			1	
		面接指導(単位時間) 合計					4	